

福祉施設をもっと身近に…

4月22日 めくもりの里福祉祭り

開所以来、毎年開催しているめくもりの里福祉祭りが、福祉村(田京)で開催されました。同祭は、福祉施設をより身近に感じてもらうと、めくもりの里を中心にあおばの家やなぎの家などが共同で開催しています。この日は、通院・居住者やその家族ら200人以上が来場。メイン会場では、太極拳や南京玉すだれ、大仁中学校吹奏楽部による演奏などで盛り上がりました。



災害時に強い味方

4月23日 順天堂静岡病院と医療救護協定

市は、順天堂大学医学部附属静岡病院と『災害時の医療救護活動に関する協定書』を締結しました。市役所で行った調印式では、望月市長と同病院の三橋直樹院長が協定書に署名しました。

協定は、市と同病院が相互に医療救護活動で協力することなどが定められています。同病院は重症患者の受け入れやトリアージに協力すること、市は医療資器材や給水体制を確保することなどを想定しています。



水は命の源

4月25日 下畑・宗光寺水源地水神祭

豊かな水の恵みに感謝し、水の安定供給、水道工事の安全を祈願するため、伊豆の国市上下水道協同組合が、下畑水源地、宗光寺水源地で水神祭を行いました。飯田俊治理事長は、「東日本大震災からライフラインとしての水の重要性はより一層増した。有事の際は、迅速に供給できるよう市民のために頑張りたい」とあいさつしました。



伊豆の国甲冑隊 見参!

5月3日 小田原北條五代祭りに参加

神奈川県小田原市で開催された『北條五代祭り』に、今年も伊豆の国市の甲冑隊が参加しました。市役所職員と観光協会職員11人が手作り甲冑に身を包み、小田原城下約2.4kmを練り歩きました。甲冑隊は『伊豆の国市』と書かれたのぼりを掲げ、沿道を埋め尽くす小田原市民や観光客に伊豆の国市をPRしました。



五月晴れの中、優雅に泳ぐ鯉のぼり

5月5日 市民の森に20匹の鯉のぼり

子どもの日に合わせ、市民の森(浮橋)の中を流れる深沢川に、およそ20匹の鯉のぼりが設置しました。

連休中は爽やかな五月晴れにも恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。



募集

市は毎年、市民の森に鯉のぼりを設置していますが、所有している鯉のぼりの劣化が進んでいます。使わなくなった鯉のぼりをゆずってくれる人がいましたらご連絡ください。※集まり次第、募集を終了させていただきます。

都市計画課
055-948-2909

頼朝挙兵 830 年祭の一環として

4月8日 鎌倉まつりへ参加

鎌倉市で開催された第54回鎌倉まつりに、頼朝挙兵830年祭の一環として、パレードと子ども創作能『伊豆の頼朝』奉納に参加しました。

パレードには伊豆長岡芸妓連・伊豆の国市音頭保存会の皆さん50人が、『あやめ音頭』を披露しながら観客でにぎわう若宮大路をねり歩きました。鎌倉宮で行われた子ども創作能には、立ち見の観客がでるほどの盛況でした。



復旧・復興に貢献

4月 市に宮城県知事から復興支援の感謝状

東日本大震災で被災した宮城県多賀城市で被災地のために支援を行った本市に、同県の村井嘉浩知事から感謝状が届きました。

望月市長は『復興に向けて～絆～』と記された感謝状を手に、「これからも市としてできる限り協力していきたい」と述べました。感謝状は伊豆長岡庁舎入口に展示してあります。

